

平成29年度 経営支援事例報告書

【テ ー マ】

支援区分	創業
支援テーマ	創業支援と法人化支援

【企業の概要】

名 称	KAGEYAMA株式会社	創 業 年	2016年
代 表 者	景山 健一	業 種	木造建築工事業
商 工 会	米子日吉津商工会	(取扱い商品等)	一般住宅

【支援の概要】

1. 相談の経緯

平成28年4月に日吉津村内での事業の立ち上げ相談を受け、創業に伴う創業支援資金の活用を行った。同社は、ログハウスなどの技術を有しており、その分野での取引を強みとして開業。取引先にも恵まれ、引き合いが多数ある中、業者への支払いが先行するなど資金繰りの相談を受け、追加の運転資金などの支援を継続している。平成29年期には、取引が大幅に増加する中、売上が倍以上の伸びとなり、司法書士のほか、税理士との連携によって法人化支援を行った。

2. 経営課題

創業に向けた相談では、売上計画において実現可能な数値計画を協議の上で作成を行った。創業以降、引き合いを順調に確保する事ができたが、売上入金よりも外注や材料費など支払いが先行するケースが多く、資金繰りについて課題が見られた。

3. 支援内容

- 創業に伴う自社の強みの聞き取りと整理のほか、市場環境の把握と計画書策定支援を実施。
- 創業・第二創業促進補助金支援と創業支援資金あっせん支援。
- 建設業界の不安に対する新たな事業（ボルダリングジムの開業）に向けた事業計画策定支援を行った。
- 県版経営革新計画の策定・実行の支援（強みを活かしたクライミングジム開設による多角化経営）
- 司法書士、税理士と協議を行い、法人化支援を行った。

4. 支援の成果

創業支援という事もあり、創業計画では固い数値計画の下、実現可能性の高い計画を作成。当初の見込みと比べて取引事業者より多くの引合いを受けることができた。結果として創業計画に対して4倍近い売上となった為、それに伴い、業者等への支払いが先行する中、資金繰りの相談に対し、金融機関と連携して対応できた事で、受注もスムーズに行う事ができた。

5. 事業者の声

創業時より相談に乗って頂いています。事業計画の作成など支援をいただいております。きちんとした計画に沿って事業を進める事ができました。今後は、業界動向なども大きな変化を伴うようになる中、引き続き支援をいただけたらと思っております。

【報告者】

センター	西部商工会産業支援センター	担当者名	白井 知弘
------	---------------	------	-------